

令和 8 年度 通信教育実施計画

教科		科目	単位数	履修上の留意点			
数学		数学Ⅱ	4	数学Ⅰを履修した生徒			
指導目標	方程式・式と証明、図形と方程式、三角関数、指数関数・対数関数、微分・積分について、基本的な考えを理解するとともに、知識と技能の習熟を図る。また、数学的な見方・考え方を働かせて、活用する態度を育てることを目指す。						
教科書			副教材等		添削指導		面接指導
新数学Ⅱ			なし		12 回		2 単位時間
メディア視聴減免実施の有無			☐ 実施している			☒ 実施していない	
メディア減免 視聴メディア及び視聴日程					メディア減免報告課題提出締切		
なし					なし		
レポート（学習報告書）							
回	学習内容						提出期限
1	1 章 方程式・式と証明 ・ 式の計算 ・ 2 次方程式						佐 5/7 唐・月5/13
2	1 章 方程式・式と証明 ・ 高次方程式 ・ 式と証明						佐 5/27 唐・月6/3
3	2 章 図形と方程式 ・ 座標と直線の方程式						佐 6/17 唐・月7/8
4	2 章 図形と方程式 ・ 円の方程式 ・ 軌跡と領域						佐 6/17 唐・月7/8
5	3 章 三角関数 ・ 三角関数						佐 7/15 唐・月7/22
6	3 章 三角関数 ・ 加法定理						佐 7/15 唐・月7/22
7	4 章 指数関数と対数関数 ・ 指数関数						佐 10/21 唐・月10/28
8	4 章 指数関数と対数関数 ・ 対数関数						佐 10/21 唐・月10/28
9	5 章 微分と積分 ・ 微分係数と導関数						佐 11/25 唐・月12/2
10	5 章 微分と積分 ・ 微分係数と導関数						佐 11/25 唐・月12/2
11	5 章 微分と積分 ・ 導関数の応用						佐 12/16 唐・月12/23
12	5 章 微分と積分 ・ 積分						佐 1/6 唐・月1/27

スクーリング（面接指導）		
月	学習内容	実施日
4	3次式や分数式の計算について習熟する。数の範囲を複素数にまで拡張して、2次方程式の解と係数の関係を用いた計算ができるようになる。	佐賀4/19 唐津4/26 月曜4/27
5	整式の割り算から剰余定理、因数定理を理解して、高次方程式を解くことができるようにする。	佐賀5/10 唐津5/17 月曜5/18
6	座標平面を活用して2点間の距離や内外分点の座標を求めたり、直線や円の方程式を用いて問題を解けるようにする。	佐賀5/31 唐津6/21 月曜6/22
7	角度を拡張して三角比の値を求める方法を知り、更に加法定理を活用して色々な問題を解けるようにする。	佐賀6/28 唐津7/5 月曜7/6
集中S	方程式・式と証明、図形と方程式、三角関数についての理解を深め、数学的に処理する力を身に付ける。	全課程 7/12,13
勉強会	方程式・式と証明、図形と方程式、三角関数についての理解を深め、数学的に処理する力を身に付ける。	全課程 7/22
10	指数関数、対数関数について、数学的性質を比較しながら理解を深め、それらを用いて数学的事象を理解することを目指す。	佐賀10/4 唐津10/11 月曜10/12
11	微分係数や導関数について、図形的な意味を含めて大まかに理解する。その上で、微分を用いて接線の方程式を求めることができることを理解する。	佐賀11/8 唐津11/15 月曜11/16
12	微分を用いて高次関数の変化を調べることができることを理解する。	佐賀11/29 唐津12/6 月曜12/7
1	微分と積分の関係を大まかに理解して、積分という計算が面積や体積の計算に役立つことを理解できるようにする。	佐賀12/20 唐津1/20 月曜1/21
勉強会	指数関数・対数関数、微分、積分についての理解を深め、数学的に処理する力と活用する力を身に付ける。	全課程 1/12,13
試験		
前・後期	試験範囲	実施日
前期	・レポート：第1回～第6回 ・教科書：1章、2章、3章	佐賀8/23 唐津8/30 月曜8/31
後期	・レポート：第7回～第12回 ・教科書：4章、5章	佐賀1/24 唐津1/31 月曜2/1
学習の成果に係る評価及び単位の修得の認定に当たっての基準		
・評価は3つの観点について、観点ごとの3段階（A,B,C）で評価を行う ・「知識・技能」：テスト,レポート ・「思考・判断・表現」：テスト,レポート ・「主体的に取り組む態度」：テスト,レポート		
その他		